

脳波データをもとにした 新たなデザイン評価システムの開発

横山 広充（よこやま ひろみつ）
ロボティクス&デザイン工学部 システムデザイン工学科 講師

用途・応用分野：商品開発、デザイン分野、土木建築分野



■ 研究シーズ概要

プロダクトデザインやグラフィックデザインなど様々なデザインを見たり使用した際の脳波について脳波把握実験を行う。取得した脳波計測データと行動観察調査結果の相関などにより、にデザインに関する感性評価システムを開発する。実験では可搬型の無線小型脳波計を用いる。

開発した感性評価システムは新製品の評価やデジタルサイネージなど各デザイン分野において利用者に求められるデザインの創出に寄与することを目的とする。



可搬型無線脳波計装着の様子



住宅内における脳波把握実験の様子

■ 研究シーズの特徴

- ・医学分野や生理心理分野で用いられてきた脳波計をデザイン分野にも応用している点
- ・従来の形容詞対を5段階や7段階で評価させるSD法に代表される心理評価とはことなる評価方法である点
- ・所謂デザイナーのセンスに完全には依存しない商品開発や開発中の商品のユーザビリティの評価に利用できる点

